

同窓会会館の建設の可能性

浜松医科大学同窓会副会長 山本清二

新設医科大学といわれながら、早いもので創立以来21年が過ぎようとしています。創立20周年を期に、同窓会会館あるいはそれに類するものの建設について一度考えてみよう、浦野会長と神村事務局長の努力で、昨年、全国の医科大学・医学部にアンケート調査が行われました。同窓会会館建設の問題は、多大な経費を要するためになかなか現実的な話が進まないでしょうが、それだけにまた、長期に渡って議論し準備する必要もあるのです。私個人としては、計画が何らかの形で進行していくことが望ましいと考えていますし、30周年あるいは50周年記念事業の一環として建設が現実化し、落成式に酒でも飲みたいと考えたりもします。

以下にアンケートの結果をまとめ、問題点を提起することにより、今後の議論の材料になればと思います。ワープロのキーをたたいていきます。

(1) 同窓会会館について (回答率 26/)

- | | |
|-----------------|-------|
| a 現在同窓会会館がある。 | 6/26 |
| b 具体的な建設計画がある。 | 5/26 |
| c 建設予定だがまだ計画は無い | 4/26 |
| d 建設予定無し | 11/26 |

(2. 1) 現在同窓会会館がある6大学 (学部) で、同窓会会館の規模及びその性格は。

講堂を主とするのは2大学、講堂と宿泊施設を兼ねているのは4大学。講堂の収容人員は80-300名、宿泊人員は数名から20数名程度であった。

(2. 2) 現在同窓会会館のある場所は。

大学または病院の敷地内3大学、同窓会が所有する敷地内3大学であった。

(2. 3) 現在の会館建設経費の総額 (円) は。

約8億 (平成元年築)、約3.6億 (平成2年築)、約1.5億 (築30年中古物件)
総額不詳・募金約4000万 (昭和35年築)、約1.5億 (昭和51年築)
約1.2億 (昭和45年築) ・約3.9億 (昭和61年増築)。

(2. 4) 現在の会館建設費の捻出方法は。

主として同窓会会員からの寄付によるのは5大学で、平均寄付金は3.6万から20万円、10万円が最も多かった。残りの1大学は、会員からの寄付の他病院や企業の寄付によった。

(2. 5) 現在の会館の利用状況は。

同窓会会員に限らず大学関係者の利用が多いと回答したのが4大学、主として同窓会会員の利用が多いと答えたのが1大学、無回答が1大学であった。利用回数は、月4回から12回程度だが、ほぼ毎日利用しているとの回答もあった。利用目的は、会議、学会、研修会、セミナー、宴会等であった。

(3. 1) 具体的な建設計画がある5大学(学部)で、計画中の会館の規模と性格は。

会議室と宿泊施設2大学、講堂または会議室1大学、宿泊施設1大学、宿泊保養施設・人間ドック施設・会議室等の多目的施設1大学であった(具体的な規模については記載なし)。

(3. 2) 予定している会館の建設場所は。

5大学すべて大学敷地内。

(3. 3) 建設経費の総額(円)は。

1.5億、3億、4億、総額15億のうち同窓会で4ないし5億を負担、総額20億(民間企業の寄付による医療情報に関する施設に併設)のうち同窓会で5億負担等々であった。

(3. 4) 建設経費の捻出方法は。

同窓会の負担分は主として同窓会会員からの寄付による(寄付金は10万、10万から100万円等)との回答であった。

(4. 1) 将来建設予定であるが具体的な計画がまだ無い5大学(学部)で、計画を立たない理由は。

会員数及び建設経費が不十分なためと答えたのが4大学、敷地と予算の問題や建設後の維持管理の問題が解決せず、創立50周年(平成6年)記念行事までには具体的な構想に至らずとの回答が1大学あった。

「同窓会会館の建設の問題」を考える上での材料がなるべく多くなるように、個々の回答をそのまま取り上げたので、読みにくい点はお許し願いたいのですが、皆さんはこの結果をどのようにご覧になったでしょうか。回答のなかった大学もそのような計画が無いかあるいは具体的ではないと考えると、大多数の大学では、同窓会会館なるものの建設は考えられていないと判断される方もおられるでしょう。しかし、会館建設の可能性を考えると、まずアンケートの結果に学ぶとすれば、次のような最大公約数的な同窓会会館の建設像が描けると思われまます。すなわち、「講堂または会議室と宿泊施設を備えた会館を大学や病院の敷地内に作り、総工費は3ないし4億円、それらは平均10万円の会員の寄付でまかなう。」ということになりましょう。「それでは第二の半田山会館を建設するのか」という意見がでるでしょう。「それなら、立派な講堂を建てる方が良い」という人もいるでしょう。「いや、浜名湖畔に保養施設を作った方がいい」という考えもでるでしょう。また、「寄付金10万円は高すぎる!」という方は多いでしょうが、「100万ぐらいは寄付しよう」という太っ腹の人もいるかもしれません。要は同窓会会館を建設するという意志あるいは総意が同窓会にあるかどうかにかかっているように思います。経費の捻出に関して、わが浜松医科大学同窓会は、積立金というユニークな方法をとっており、これはある意味では同窓会会館建設は会設立当初からの悲願であることを物語っています。現在積立金の総額約3千万円。機会あるごとにこの問題について広く意見を求めていきたいと思ひます。